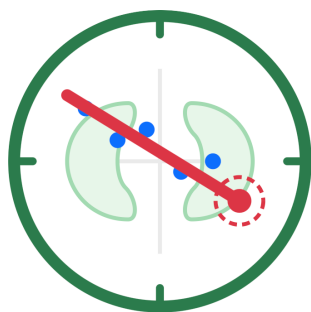




eGFR NAVI

操作説明書

バージョン 1.0.0

愛媛腎健プロジェクト
Ehime Renal Health Project



目次

1. はじめに	3
2. 起動とログイン	4
3. トップ画面の見かた	6
4. 検査データの取り込み	8
5. データ閲覧	12
6. データ編集 / グラフ表示の画面	13
7. データの入力・修正	14
8. 解析区間の選択	15
9. 表示オプションの切り替え	16
10. グラフの見かた	17
11. 解析結果の見かた	18
12. データベース解析	19
13. グラフの印刷	23
14. 環境設定	24
15. ダークモードとライトモード	27
16. よくある質問	28

1. はじめに

eGFR NAVI は、腎機能の指標である **eGFR** の検査値を「一点」ではなく「線」として捉えるためのソフトウェアです。過去の検査値をデータとして蓄積し、回帰直線から腎機能低下速度を求め、**腎予後**を予測します。

さらに **データベース解析** により、登録されている**すべての患者を横断してリスクの高い症例群**をボタンひとつで抽出できます。受診毎の検査値を見ているだけでは気づきにくい変化を**集団レベルで見落とさない**ための機能です。

主な機能

機能	内容
検査データの取り込み	検査会社・施設から提供されたCSVファイルを読み込み、内部データベースへ格納
グラフ表示	eGFRの推移・回帰直線・予測区間・信頼区間を表示
予測	現在の傾きが続いた場合に下限値へ到達する予測日を算出
データベース解析	全患者をステージ・低下速度・短期変化率で層別化し、高リスク患者群を抽出
印刷	説明用にグラフと解析結果を印刷

本ソフトウェアは、検査値の可視化と高リスク患者の抽出を**支援**するものであり、診断を行う医療機器ではありません。表示される回帰直線・予測・層別結果は、過去の検査値から機械的に算出したものです。**最終的な判断は必ず医師が行ってください。**

患者の氏名・年齢・性別などの属性は保存しません。eGFR NAVI が保持するのは、**カルテNo と 検査日・eGFR値** だけです。

2. 起動とログイン

eGFR NAVI には、**デスクトップ版**（各PCにインストールして使う）と、**サーバー版**（院内の1台で動かし、各部署のPCのブラウザから使う）があります。サーバー版では、最初にログイン画面が表示されます。

サーバー版へのアクセス

1. ブラウザを開き、管理者から案内されたアドレス（例：**http://192.168.1.50:3000**）を入力します
2. パスワードを入力して「**ログイン**」をクリックします



ログイン画面

2種類のパスワード

パスワードによって、利用可能な機能が変わります。

種類	利用可能な機能
管理者パスワード	すべての機能（データの取り込み・初期化・環境設定を含む）
利用者パスワード	データの閲覧・グラフ表示・データベース解析。「環境設定」は表示されず、データの取り込みや初期化はできません

ログアウトは、トップ画面の「ログアウト」から行います。席を離れるときは、ログアウトしておく及安全です。

初期パスワードのままになっていませんか？導入直後は初期パスワード **admin** だけで管理者ログインできる状態です。ログイン画面とトップ画面に警告が表示されている間は、「環境設定 → パスワード設定」で正式なパスワードを設定してください。

△ 初期パスワードで運用中です。

初期管理者パスワード admin でログインし、
「環境設定 → パスワード設定」で新しい管理
者・利用者パスワードを設定してください。

eGFR NAVI

院内サーバー版・ログイン

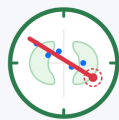
パスワード

ログイン

初期パスワードで運用中のときに表示される案内

ログイン後のトップ画面にも、同じ警告が表示されます。

△ 初回セットアップ: 現在は初期パスワードで動作しています。
セキュリティのため、環境設定で正式な管理者・利用者パスワードを設定してください。



eGFR NAVI

腎臓の未来をナビゲート

v1.0.0 (アクセス先 <http://192.168.193.186:3000>)

回帰直線プロットによるCKD患者のeGFR推移予測



操作説明書

PDFを別ウィンドウで開く



データベース管理

データなし



データ編集 / グラフ表示

ID検索・回帰・予測



データベース解析

全患者をステージ・スロープ・短期変化率で層別解析



環境設定

施設名・デフォルト表示オプション



ログアウト

セッションを終了して再ログイン



愛媛腎健プロジェクト

Ehime Renal Health Project

トップ画面の初回セットアップ警告

3. トップ画面の見かた

起動すると、次のトップ画面が表示されます。ここから各機能へ移動します。



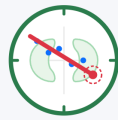
トップ画面（管理者でログインした場合）

メニュー	内容
操作説明書	この説明書（PDF）を開きます
データベース管理	検査データの取り込み、データの閲覧、初期化・復旧を行います
データ編集 / グラフ表示	カルテNoを指定して、患者ごとのグラフを表示・編集します
データベース解析	全患者を層別解析し、高リスク患者を抽出します
環境設定	施設名や初期表示の設定、パスワードの設定を行います（管理者のみ）
終了 / ログアウト	デスクトップ版はアプリを終了、サーバー版はログアウトします

バージョン番号の右には、サーバー版の場合に**アクセス先のアドレス**が表示されます。他のPCから接続する際は、このアドレスをブラウザに入力してください。

利用者パスワードでログインした場合

「環境設定」は表示されず、「データベース管理」は「**データ閲覧**」という名前になります。



eGFR NAVI

腎臓の未来をナビゲート

v1.0.0 (アクセス先 <http://192.168.193.186:3000>)
回帰直線プロットによるCKD患者のeGFR推移予測



操作説明書

PDFを別ウィンドウで開く



データ閲覧

データなし



データ編集 / グラフ表示

ID検索・回帰・予測



データベース解析

全患者をステージ・スロープ・短期変化率で個別解析



ログアウト

セッションを終了して再ログイン



愛媛腎健プロジェクト
Ehime Renal Health Project

利用者（閲覧者）でログインしたトップ画面

4. 検査データの取り込み

トップ画面の「データベース管理」を開き、左側の「検査データファイル読込」から取り込みます。

検査データファイル読込

☒ 基本CSV (YYYY-MM-DD,ID,eGFR)

☐ にしだわたる糖尿病内科

☐ 朝倉内科循環器科クリニック

☐ 放射線第一病院

☐ HITO病院

登録順

データファイル指定

データ形式の選択（登録順に表示されます）

取り込みの手順

1. データファイルの形式（施設）をリストから選びます
2. 「データファイル指定」をクリックし、CSVファイルを選びます
3. プレビューが表示されるので、件数・患者数・期間を確認します
4. 問題なければ「この内容で取り込み確定」をクリックします

検査データファイル読込

☒ 基本CSV (YYYY-MM-DD,ID,eGFR)

☐ にしだわたる糖尿病内科

☐ 朝倉内科循環器科クリニック

☐ 放射線第一病院

☐ HITO病院

 登録順

データファイル指定

egfr_demo.csv
 データ形式: 基本CSV
 取り込み件数: 7,155 ・ 患者 300名
 期間: 1997-03-19 ~ 2026-07-01
 スキップ: 非数値 0 / 対象外 0 / 不正 0

ID	日付	eGFR
DEMO0001	2018-05-17	107.4
DEMO0001	2018-10-21	106
DEMO0001	2019-04-14	111.5
DEMO0001	2019-10-30	104.8
DEMO0001	2020-03-21	106.3

この内容で取り込み確定
 取消

データファイル指定後の表示（件数・患者数・期間・スキップ件数を確認できます）



取り込み件数の確認メッセージ

取り込みが終わると、画面上部の**件数・患者数・期間**と右側のデータ一覧が更新されます。

データベース管理

← トップへ

件数 7,155 ・ 患者 300名 ・ 期間 1997-03-19 ~ 2026-07-01

データベースファイル: /Users/wataru/work/claude/egfr-navi/data/egfr.db

検査データファイル読込

☒ 基本CSV (YYYY-MM-DD, ID, eGFR)

☐ にしだわたる糖尿病内科

☐ 朝倉内科循環器科クリニック

☐ 放射線第一病院

☐ HITO病院

登録順

データファイル指定

初期化

データベースを初期化します。実行前に自動バックアップを作成します。

初期化 (バックアップ付き)

バックアップを選択し復旧ボタンを押してください。

クリックでバックアップ一覧を表示

復旧

データ閲覧

データ検索

カルテNoを入力

データ一覧

日付順

回数順

降順

昇順

カルテNo	件数	最初のデータ	最新のデータ
DEMO0166	80	2004-09-25	2026-06-16
DEMO0093	70	2008-11-11	2026-05-31
DEMO0257	69	2003-11-28	2026-06-29
DEMO0165	68	2002-08-26	2026-07-01
DEMO0053	67	1998-08-24	2026-07-01
DEMO0243	67	2004-02-28	2026-07-01
DEMO0245	66	1999-09-05	2026-06-15
DEMO0016	64	2005-07-21	2026-06-11
DEMO0253	62	2003-08-26	2026-07-01
DEMO0252	62	2004-02-11	2026-06-01
DEMO0051	60	2002-09-17	2026-07-01
DEMO0267	60	2003-01-25	2026-07-01
DEMO0111	56	2017-04-09	2026-07-01
DEMO0005	56	1999-03-19	2026-06-13

行をクリックするとデータ編集/グラフ画面に移動します。

取り込み後のデータベース管理画面

同じ検査日のデータを重ねて取り込んでも重複しません。同じカルテNo・同じ日付のデータは上書きされるため、毎月のファイルを続けて取り込んでいけば、そのまま履歴が積み上がります。

動作確認用のデモデータを同梱しています。仮想データファイルとして

C:\egfr-navi\demo\egfr_demo.csv が用意されています。eGFR NAVI の動作確認のためにご活用ください。確認後はデータベースを初期化した上で、本番データを読み込んでください。

形式が一致しないとき

選んだ形式とファイルの中身が食い違う場合、警告が表示されます。列の並びが異なるまま取り込むと誤った値が登録されるため、警告が出たら形式を選択し直してください。

検査データファイル読込

☒ 基本CSV (YYYY-MM-DD,ID,eGFR)

☐ にしだわたる糖尿病内科

☐ 朝倉内科循環器科クリニック

☐ 放射線第一病院

☐ HITO病院

登録順

データファイル指定

△ 選択したデータ形式と一致しない可能性があります。選択内容をご確認ください。

data.csv

データ形式: 基本CSV

取り込み件数: 0 ・ 患者 0名

期間: null ~ null

スキップ: 非数値 0 / 対象外 0 / 不正 3826

ID	日付	eGFR
----	----	------

この内容で取り込み確定

取消

形式が一致しない可能性があるときの警告

文字コード・改行について

UTF-8 と Shift-JIS、改行コードの違い（CRLF / LF）は自動的に判別されます。ファイルを変換する必要はありません。

5. データ閲覧

「データベース管理」の右側で、登録されているデータを一覧できます。

データ閲覧

データ検索

カルテNoを入力

データ一覧

日付順回数順降順昇順

カルテNo	件数	最初のデータ	最新のデータ
DEMO0166	80	2004-09-25	2026-06-16
DEMO0093	70	2008-11-11	2026-05-31
DEMO0257	69	2003-11-28	2026-06-29
DEMO0165	68	2002-08-26	2026-07-01
DEMO0053	67	1998-08-24	2026-07-01
DEMO0243	67	2004-02-28	2026-07-01
DEMO0245	66	1999-09-05	2026-06-15
DEMO0016	64	2005-07-21	2026-06-11
DEMO0253	62	2003-08-26	2026-07-01
DEMO0252	62	2004-02-11	2026-06-01
DEMO0051	60	2002-09-17	2026-07-01
DEMO0267	60	2003-01-25	2026-07-01
DEMO0111	56	2017-04-09	2026-07-01
DEMO0005	56	1999-03-19	2026-06-13

行をクリックするとデータ編集/グラフ画面に移動します。

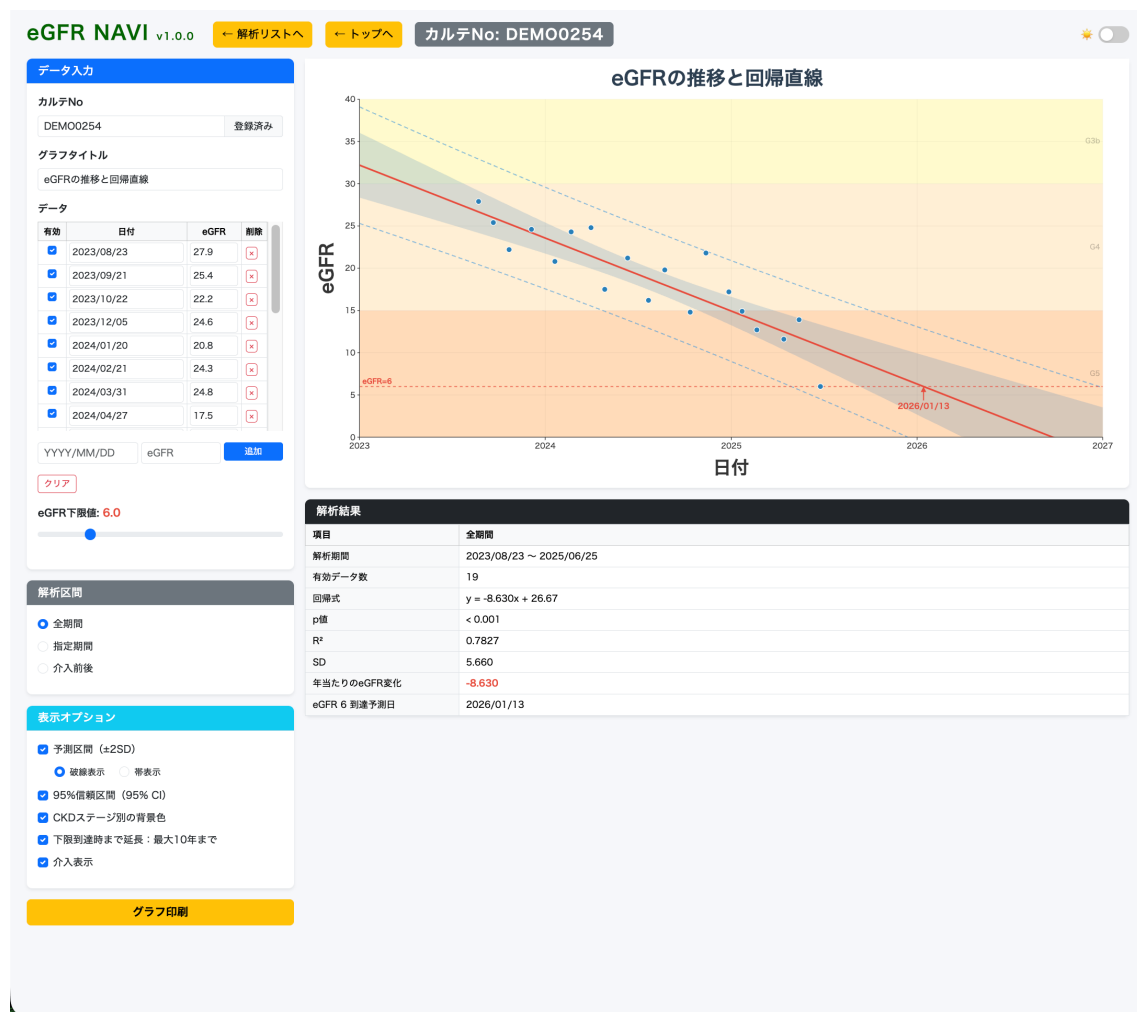
データ閲覧（日付順・回数順で並べ替えできます）

- ・データ検索：カルテNoを入力して **Enter** を押すと、その患者だけを表示します
- ・日付順：最新の検査日が新しい（または古い）順に並べます
- ・回数順：検査回数が多い（または少ない）順に並べます
- ・降順 / 昇順：並び順を切り替えます

表の行をクリックすると、その患者の**グラフ画面**へ移動します。グラフ画面から戻ると、**直前の一覧の状態が復元**されます。

6. データ編集 / グラフ表示の画面

患者ごとの画面です。左側が操作パネル、右側がグラフと解析結果です。



データ編集 / グラフ表示の画面

場所	内容
左上：カルテNo	表示中の患者のカルテNo。別のIDを入力すると切り替わります
左：データ	検査日とeGFRの一覧。個別に除外・修正・削除ができます
左：eGFR下限値	到達予測の基準となる値（初期値 6.0）
左：解析区間	全期間 / 指定期間 / 介入前後 を選びます
左：表示オプション	予測区間・信頼区間・背景色などの表示を切り替えます
右上：グラフ	eGFRの推移と回帰直線
右下：解析結果	傾き・p値・R ² ・到達予測日など

7. データの入力・修正

画面左側の「データ入力」パネルで、検査値の追加・修正・削除を行います。

データ入力パネル

データを追加する

1. 日付欄に **YYYY/MM/DD** の形式で入力します
2. eGFR欄に数値を入力します
3. 「追加」をクリックします（日付欄で Enter を押すと eGFR 欄へ移動します）

一時的に解析から外す

表の「有効」のチェックを外すと、その値は**グラフには残ったまま解析から除外**されます。脱水時や急性期の値など、傾きの評価に含めたくない値がある場合に使います。

修正・削除

- ・日付やeGFRの値は、表の中でクリックして直接書き換えられます
- ・行末の削除ボタンで、その行を削除します
- ・「クリア」は表示中の患者のデータをすべて消します。押すと確認表示に変わり、もう一度押すと実行されます

削除・クリアは元に戻せないので注意してください。

8. 解析区間の選択

回帰直線を計算する期間を選べます。

区間	内容
全期間	登録されているすべての有効データで計算します
指定期間	開始日と終了日で指定された範囲だけで計算します
介入前後	介入日を境に、前後それぞれの回帰直線を計算して比較します

解析区間

☐ 全期間

☒ 指定期間

開始

終了

YYYY/MM/DD

YYYY/MM/DD

☐ 介入前後

指定期間の入力

日付を入力したら **Enter キー**を押してください。押さないとグラフに反映されません。

介入前後モード

薬剤の変更や治療開始の日付を**介入日**として入力すると、その前後で傾きはどう変わったかを並べて確認できます。介入内容（例：SGLT2阻害薬開始）を入力すると、グラフ上のマーカーに表示されます。

解析区間

☐ 全期間

☐ 指定期間

☒ 介入前後

介入日付

YYYY/MM/DD

介入内容

例: 薬剤変更

介入前後モード（介入日を境に2本の回帰直線）

9. 表示オプションの切り替え

表示オプション

- ☒ 予測区間 (±2SD)
 - ☒ 破線表示 ☐ 帯表示
- ☒ 95%信頼区間 (95% CI)
- ☒ CKDステージ別の背景色
- ☒ 下限到達時まで延長：最大10年まで
- ☒ 介入表示

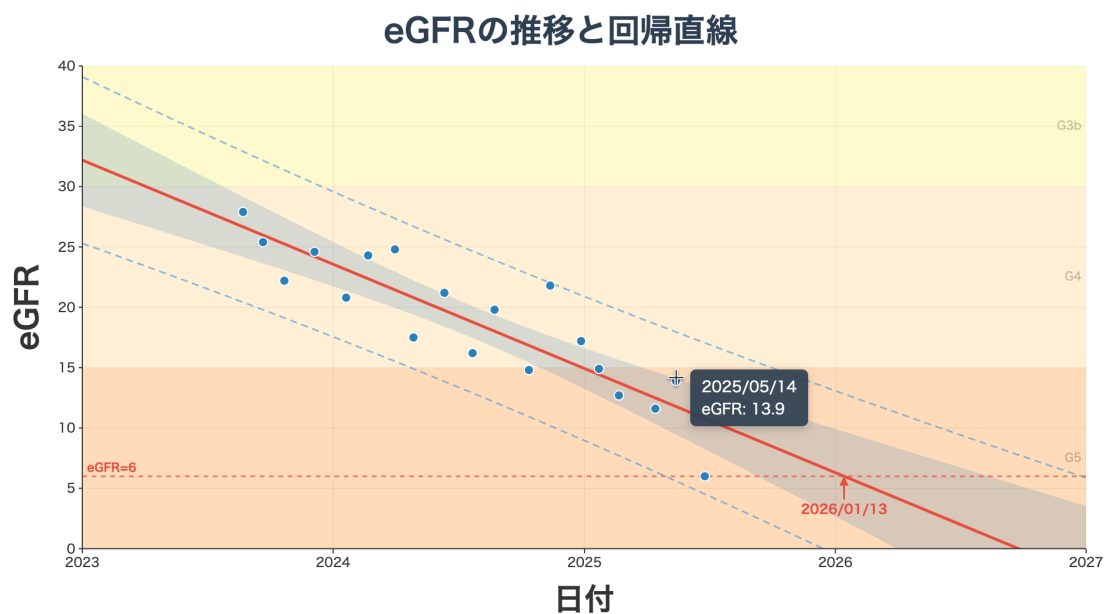
表示オプション

オプション	内容
予測区間 (±2SD)	回帰直線の上下に、個々のデータの予測範囲を表示
└ 破線表示	予測区間の境界を破線で表示
└ 帯表示	予測区間を半透明の帯で表示
95%信頼区間 (95% CI)	回帰直線の信頼性の範囲を帯で表示
CKDステージ別の背景色	G1～G5 を背景色で区別して表示
下限到達時まで延長：最大○年まで	横軸を下限到達予測日まで伸ばして表示 (○は環境設定の上限年数)
介入表示	介入マーカー (縦破線とラベル) を表示

「下限到達時まで延長」の上限について

低下がごく緩やかな場合、下限到達の予測が数十年～数百年先になることがあり、そのまま横軸を伸ばすとグラフが読み取れなくなります。そこで横軸の延長には上限を設けています（初期値は最終測定日から20年）。制限が有効なときは、オプション名が「下限到達時まで延長：最大○年まで」と表示されます。上限の年数は環境設定 → デフォルト表示オプションで変更でき、「延長は最大○年までに制限」のチェックを外せば無制限にもできます。予測日が上限より先になる場合、グラフ上に到達予測の矢印は表示されませんが、予測日そのものは解析結果表に表示されます。

10. グラフの見かた



グラフの各要素（点にカーソルを合わせると検査日とeGFR値が表示されます）

要素	意味
青い点	個々の検査値（有効なデータ）
赤い直線	回帰直線（最小二乗法）。傾きが年当たりの低下速度
灰色の帯	95%信頼区間。回帰直線そのものの推定の幅
水色の破線／帯	予測区間（ $\pm 2SD$ ）。個々の検査値がばらつく範囲の目安
背景の色	CKDステージ（G1～G5）
赤い横破線	eGFR下限値（初期値 6）
赤い矢印と日付	下限値に到達する予測日
縦の破線	介入日（介入表示が有効な場合）

横軸の年は、観測期間が長い場合には自動的に間引いて表示されます。その場合も**開始年**と**終了年**は必ず表示されます。

11. 解析結果の見かた

グラフの下に、計算結果が表で表示されます。

項目	意味
解析期間	回帰直線の計算に使った期間
有効データ数	計算に使ったデータの個数（除外した値は含みません）
回帰式	回帰直線の式
p値	統計的な信頼性。0.05未満なら「トレンドあり」。小さいほど信頼性が高い
R ² （決定係数）	直線への当てはまり度（0～1）。1に近いほど良い
SD	データのばらつき（標準偏差）
年当たりのeGFR変化	1年間で eGFR がどれだけ変化するか（赤い太字で表示）
eGFR ○○ 到達予測日	現在の傾きで推移した場合に下限値へ到達する予測日

「改善・維持傾向」と表示される場合：eGFRが上昇または横ばいのため、下限到達の予測はできません

到達予測日が**環境設定の上限（初期値20年）**より先になる場合、グラフの横軸はそこまで延長されず、到達予測の矢印も表示されません（グラフが読み取れなくなるため）。この場合も**予測日はこの表に表示されます**。

介入前後モードでは、解析結果が「介入前」「介入後」の2列に拡張され、介入前後を並べて比較できます。

解釈上の注意。回帰直線は「これまでの傾きがこのまま続いた場合」の見通しにすぎません。急性の変化（脱水・感染・薬剤の影響など）が含まれていると傾きは大きく変わります。また、屋外労働者などでは**夏に低下し冬に戻る季節変動**が見られることがあり、採血の時期によって値が上下します。短い期間の値だけで判断せず、必ず長期の推移とあわせて評価してください。

12. データベース解析

登録されているすべての患者を横断して、腎機能の状態と進行の速さで分類する機能です。限られた時間の診察では見逃されがちな潜在的高リスク患者群を一覧表で抽出できます。

データベース解析

← トップへ

長期ΔeGFR算出区間

直近N年

N= 2

短期eGFR変化率算出区間

直近 6

ヵ月

再計算

ステージ分類 (直近eGFR)

グラフ

対象患者総数 = 300 人
うち判定不能患者数 = 0 人 (0.0%)

区分	人数(%)	中央値
G1 (≥90)	51 (17.0%)	108.9
G2 (60-89)	79 (26.3%)	73.3
G3a (45-59)	59 (19.7%)	52.4
G3b (30-44)	65 (21.7%)	36.5
G4 (15-29)	35 (11.7%)	23.8
G5 (<15)	11 (3.7%)	10.9
判定不能	0 (0.0%)	—

長期指標分類 (年当たりeGFR低下速度)

グラフ

対象患者総数 = 300 人
うち判定不能患者数 = 23 人 (7.7%)

区分	人数(%)	中央値
安定 (≥-1)	123 (41.0%)	0.4
軽度進行 (-1~-3)	63 (21.0%)	-1.8
中等度進行 (-3~-5)	40 (13.3%)	-3.9
急速進行 (-5以下)	51 (17.0%)	-7.4
判定不能	23 (7.7%)	—

短期指標分類 (直近のeGFR変化率)

グラフ

対象患者総数 = 300 人
うち判定不能患者数 = 39 人 (13.0%)

区分	人数(%)	中央値
軽度 (≥-5%)	163 (54.3%)	0.2
中等度 (-5~-15%)	64 (21.3%)	-8.2
高度 (-15~-30%)	28 (9.3%)	-20.7
急激 (-30%以下)	6 (2.0%)	-43.9
判定不能	39 (13.0%)	—

データベース解析の画面（3つの分類）

3つの分類

分類	見ているもの
ステージ分類	今どこにいるか。直近のeGFRによる区分（G1～G5）
長期指標分類	どれだけ速く進んでいるか。年当たりのeGFR低下速度（ΔeGFR/年）
短期指標分類	最近急に低下していないか。直近の一定期間でのeGFR変化率

それぞれの分類で、区分ごとの人数・割合・中央値が表示されます。

長期指標分類の区分	年当たりのeGFR低下
安定 (>-1)	1未満（横ばい・改善を含む）
軽度進行 (-1~-3)	1以上3未満
中等度進行 (-3~-5)	3以上5未満
急速進行 (-5以下)	5以上

算出区間の設定

画面右上で、計算に使う期間を変更できます。

- ・長期ΔeGFR算出区間：直近N年 / 全期間 / 介入後
- ・短期eGFR変化率算出区間：直近1～12ヵ月

変更したら「再計算」をクリックします。

長期ΔeGFR算出区間	直近N年	N= 2	短期eGFR変化率算出区間	直近 6	ヵ月	再計算
-------------	------	------	---------------	------	----	-----

算出区間の設定

「判定不能」について

次の場合は、無理に分類せず「判定不能」として別に数えます。各分類の見出しには、対象患者総数とあわせて判定不能の人数が必ず表示されます。

- ・長期指標：区間内の測定が3回未満、または観測期間が1年未満
- ・短期指標：比較できる過去の検査値が、指定した期間内に無い

判定不能を隠さずに表示しているのは、「該当者がいない」とことと「判断できるデータが無い」ことを区別するためです。判定不能が多い場合、それ自体が「継続的に検査できていない患者が多い」という所見になります。

患者一覧（ワークリスト）

区分の行をクリックすると、その区分に該当する患者の一覧が表示されます。選択中の区分は青く表示されます。

データベース解析

← トップへ

長期ΔeGFR算出区間

直近N年

N= 2

短期eGFR変化率算出区間

直近 6

ヵ月

再計算

ステージ分類 (直近eGFR)

グラフ

対象患者総数 = 300 人
うち判定不能患者数 = 0 人 (0.0%)

区分	人数(%)	中央値
G1 (≥90)	51 (17.0%)	108.9
G2 (60-89)	79 (26.3%)	73.3
G3a (45-59)	59 (19.7%)	52.4
G3b (30-44)	65 (21.7%)	36.5
G4 (15-29)	35 (11.7%)	23.8
G5 (<15)	11 (3.7%)	10.9
判定不能	0 (0.0%)	—

長期指標分類 (年当たりeGFR低下速度)

グラフ

対象患者総数 = 300 人
うち判定不能患者数 = 23 人 (7.7%)

区分	人数(%)	中央値
安定 (>-1)	123 (41.0%)	0.4
軽度進行 (-1~-3)	63 (21.0%)	-1.8
中等度進行 (-3~-5)	40 (13.3%)	-3.9
急速進行 (-5以下)	51 (17.0%)	-7.4
判定不能	23 (7.7%)	—

短期指標分類 (直近のeGFR変化率)

グラフ

対象患者総数 = 300 人
うち判定不能患者数 = 39 人 (13.0%)

区分	人数(%)	中央値
軽度 (>-5%)	163 (54.3%)	0.2
中等度 (-5~-15%)	64 (21.3%)	-8.2
高度 (-15~-30%)	28 (9.3%)	-20.7
急激 (-30%以下)	6 (2.0%)	-43.9
判定不能	39 (13.0%)	—

短期指標分類：急激 (-30%以下) — 6 名

☐ 1年以上未検査の症例は除外

CSV書き出し

カルテNo	測定回数 / 期間(年)	直近eGFR	ステージ	ΔeGFR/年 計算期間 直近2年	短期eGFR変化率% ▲ 計算期間 直近6ヵ月	下限到達予測日 (eGFR = 6)	最終検査日	検査間隔(日)
DEMO0254	19 / 1.8	6.0	G5	-8.6	-65.1	—	2025-06-25	400
DEMO0290	12 / 1.5	5.9	G5	-4.4	-52.0	—	2026-05-18	73
DEMO0279	17 / 1.6	8.1	G5	-11.3	-48.7	2025-06-28	2025-04-22	464
DEMO0234	17 / 1.5	9.2	G5	-7.1	-39.1	2026-12-07	2026-06-26	34
DEMO0023	12 / 1.9	32.4	G3b	-4.9	-36.0	2031-11-26	2026-07-01	29
DEMO0033	7 / 1.7	8.5	G5	-7.2	-30.9	2023-07-23	2023-03-19	1,229

行をクリックするとグラフ画面へ移動します。これは高リスク患者の抽出・トリアージ支援であり診断ではありません。

短期指標分類「急激」の患者一覧（選択中の区分は青く表示されます）

列	内容
カルテNo	患者のカルテNo。行をクリックするとグラフ画面へ移動します
測定回数 / 期間(年)	計算に使った測定の回数と、その観測期間
直近eGFR	最新の検査値
ステージ	直近eGFRによる区分
ΔeGFR/年	年当たりの変化量（マイナスが低下）
短期eGFR変化率%	直近の変化率（マイナスが低下）
下限到達予測日	現在の傾きで下限値に到達する予測日
最終検査日	最後に検査した日
検査間隔(日)	最終検査日からの経過日数。 180日以上は赤で強調 されます

- ・列名をクリックすると、その列で並べ替えできます（選択中の列は緑色）。列名の右横の三角をクリックすると、昇順と降順を切り替えられます
- ・「1年以上未検査の症例は除外」にチェックを入れると、通院が途絶えている患者を一覧から外せます
- ・「CSV書き出し」で、表示中の一覧をファイルに保存できます

データベース解析 [← トップへ](#)

長期ΔeGFR算出区間 直近N年 ▼ N= 2

短期eGFR変化率算出区間 直近 6 ヶ月 再計算

ステージ分類 (直近eGFR) グラフ 対象患者総数 = 300 人 うち判定不能患者数 = 0 人 (0.0%) <table> <tr><th>区分</th><th>人数(%)</th><th>中央値</th></tr> <tr><td>G1 (≥90)</td><td>51 (17.0%)</td><td>108.9</td></tr> <tr><td>G2 (60-89)</td><td>79 (26.3%)</td><td>73.3</td></tr> <tr><td>G3a (45-59)</td><td>59 (19.7%)</td><td>52.4</td></tr> <tr><td>G3b (30-44)</td><td>65 (21.7%)</td><td>36.5</td></tr> <tr><td>G4 (15-29)</td><td>35 (11.7%)</td><td>23.8</td></tr> <tr><td>G5 (<15)</td><td>11 (3.7%)</td><td>10.9</td></tr> <tr><td>判定不能</td><td>0 (0.0%)</td><td>—</td></tr> </table>	区分	人数(%)	中央値	G1 (≥90)	51 (17.0%)	108.9	G2 (60-89)	79 (26.3%)	73.3	G3a (45-59)	59 (19.7%)	52.4	G3b (30-44)	65 (21.7%)	36.5	G4 (15-29)	35 (11.7%)	23.8	G5 (<15)	11 (3.7%)	10.9	判定不能	0 (0.0%)	—	長期指標分類 (年当たりeGFR低下速度) グラフ 対象患者総数 = 300 人 うち判定不能患者数 = 23 人 (7.7%) <table> <tr><th>区分</th><th>人数(%)</th><th>中央値</th></tr> <tr><td>安定 (≥-1)</td><td>123 (41.0%)</td><td>0.4</td></tr> <tr><td>軽度進行 (-1~-3)</td><td>63 (21.0%)</td><td>-1.8</td></tr> <tr><td>中等度進行 (-3~-5)</td><td>40 (13.3%)</td><td>-3.9</td></tr> <tr><td>急速進行 (-5以下)</td><td>51 (17.0%)</td><td>-7.4</td></tr> <tr><td>判定不能</td><td>23 (7.7%)</td><td>—</td></tr> </table>	区分	人数(%)	中央値	安定 (≥-1)	123 (41.0%)	0.4	軽度進行 (-1~-3)	63 (21.0%)	-1.8	中等度進行 (-3~-5)	40 (13.3%)	-3.9	急速進行 (-5以下)	51 (17.0%)	-7.4	判定不能	23 (7.7%)	—	短期指標分類 (直近のeGFR変化率) グラフ 対象患者総数 = 300 人 うち判定不能患者数 = 39 人 (13.0%) <table> <tr><th>区分</th><th>人数(%)</th><th>中央値</th></tr> <tr><td>軽度 (≥-5%)</td><td>163 (54.3%)</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>中等度 (-5~-15%)</td><td>64 (21.3%)</td><td>-8.2</td></tr> <tr><td>高度 (-15~-30%)</td><td>28 (9.3%)</td><td>-20.7</td></tr> <tr><td>急激 (-30%以下)</td><td>6 (2.0%)</td><td>-43.9</td></tr> <tr><td>判定不能</td><td>39 (13.0%)</td><td>—</td></tr> </table>	区分	人数(%)	中央値	軽度 (≥-5%)	163 (54.3%)	0.2	中等度 (-5~-15%)	64 (21.3%)	-8.2	高度 (-15~-30%)	28 (9.3%)	-20.7	急激 (-30%以下)	6 (2.0%)	-43.9	判定不能	39 (13.0%)	—
区分	人数(%)	中央値																																																												
G1 (≥90)	51 (17.0%)	108.9																																																												
G2 (60-89)	79 (26.3%)	73.3																																																												
G3a (45-59)	59 (19.7%)	52.4																																																												
G3b (30-44)	65 (21.7%)	36.5																																																												
G4 (15-29)	35 (11.7%)	23.8																																																												
G5 (<15)	11 (3.7%)	10.9																																																												
判定不能	0 (0.0%)	—																																																												
区分	人数(%)	中央値																																																												
安定 (≥-1)	123 (41.0%)	0.4																																																												
軽度進行 (-1~-3)	63 (21.0%)	-1.8																																																												
中等度進行 (-3~-5)	40 (13.3%)	-3.9																																																												
急速進行 (-5以下)	51 (17.0%)	-7.4																																																												
判定不能	23 (7.7%)	—																																																												
区分	人数(%)	中央値																																																												
軽度 (≥-5%)	163 (54.3%)	0.2																																																												
中等度 (-5~-15%)	64 (21.3%)	-8.2																																																												
高度 (-15~-30%)	28 (9.3%)	-20.7																																																												
急激 (-30%以下)	6 (2.0%)	-43.9																																																												
判定不能	39 (13.0%)	—																																																												

短期指標分類：急激 (-30%以下) — 3 名 (1年以上未検査を除外)

☒ 1年以上未検査の症例は除外 [CSV書き出し](#)

カルテNo	測定回数 / 期間(年)	直近eGFR	ステージ	ΔeGFR/年 計算期間 直近2年	短期eGFR変化率% ▲ 計算期間 直近6ヵ月	下限到達予測日 (eGFR = 6)	最終検査日	検査間隔(日)
DEMO0290	12 / 1.5	5.9	G5	-4.4	-52.0	—	2026-05-18	73
DEMO0234	17 / 1.5	9.2	G5	-7.1	-39.1	2026-12-07	2026-06-26	34
DEMO0023	12 / 1.9	32.4	G3b	-4.9	-36.0	2031-11-26	2026-07-01	29

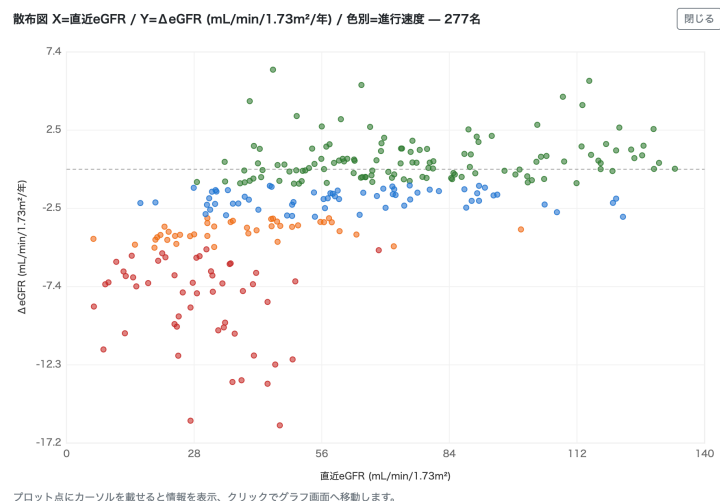
行をクリックするとグラフ画面へ移動します。これは高リスク患者の抽出・トリアージ支援であり診断ではありません。

「1年以上未検査の症例は除外」を有効にしたところ

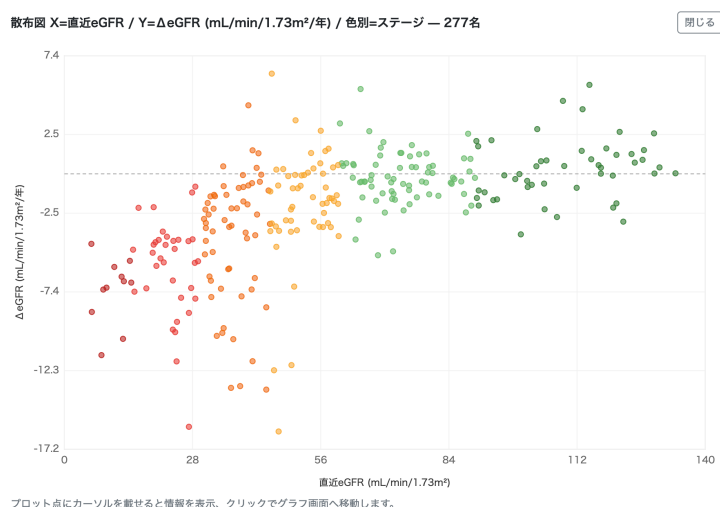
「急速進行」や「急激」を選び、「1年以上未検査の症例は除外」にチェックを入れると、いま介入できる高リスク患者だけの一覧になります。CSVに書き出せば、受診勧奨や検査の再確認にそのまま使えます。

散布図

各分類の右上にある「グラフ」ボタンを押すと、患者群の分布を散布図で確認できます。横軸が直近eGFR、縦軸がΔeGFR/年（または短期変化率）で、色は区分を表します。

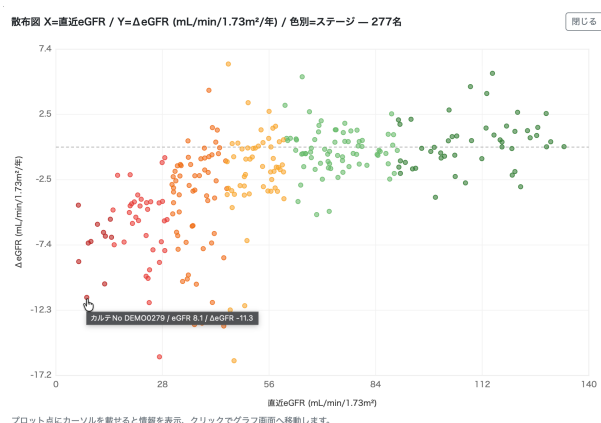


長期指標分類の散布図



ステージ分類の散布図

点にカーソルを合わせるとカルテNoと値が表示され、**クリックするとその患者のグラフ画面へ移動**します。左下に位置する患者ほど、腎機能が低くかつ低下が速い、注意すべき患者です。



点にカーソルを合わせたところ

データベース解析は、**確認すべき患者を見つけるための機能**です。抽出された患者が直ちに治療変更を要するという意味ではありません。必ず個々の患者のグラフと経過を確認し、急性の変化や季節変動、検査値のばらつきの影響を考慮したうえで判断してください。

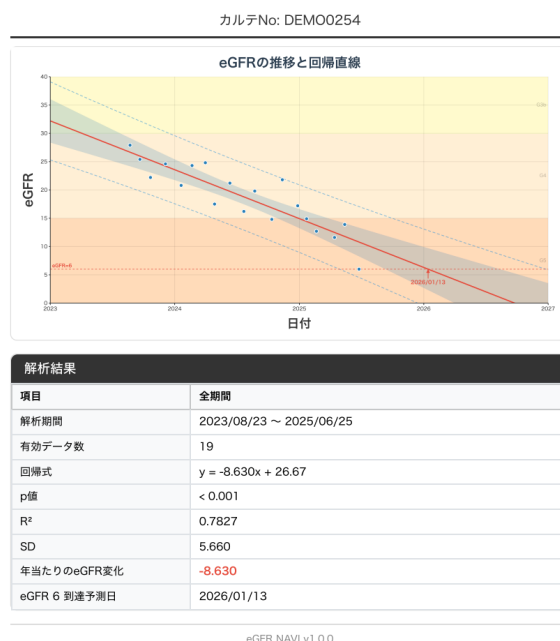
13. グラフの印刷

患者への説明用に、グラフと解析結果を印刷できます。

- ・自動的に白背景で印刷されます（ダークモードでも白背景）
- ・左側の操作パネルは印刷されません（グラフと解析結果のみ）
- ・用紙の上部に施設名とカルテNo、下部に「eGFR NAVI v1.0.0」が入ります

印刷の手順

1. 「グラフ印刷」 ボタン（黄色）をクリック
2. 印刷ダイアログでプリンタを選び、印刷します（PDFとして保存も可能です）



印刷プレビュー

14. 環境設定

環境設定

← トップへ

パスワード設定（管理者 / 利用者）

院内ブラウザ版のログインに使うパスワードです。管理者は全機能、利用者(閲覧者)はデータ閲覧のみ利用できます。変更は次回ログインから有効です。

管理者パスワード

新しい管理者パスワード（4文字以上）

確認のため再入力

管理者パスワードを保存

利用者(閲覧者)パスワード（設定済み）

新しい利用者パスワード（4文字以上）

確認のため再入力

利用者パスワードを保存

解除

「解除」すると利用者ログインを無効化できます（管理者のみで運用）。

パスワード初期化

管理者交代やパスワード失念時に使います。保存済みの管理者・利用者パスワードを消去し、全員を強制ログアウトします。以後は初期管理者パスワード `admin` のみでログインでき、初回セットアップからやり直します。

パスワードを初期化する

施設名

印刷時のヘッダー（グラフ上部）に印字されます

例：〇〇〇クリニック

デフォルトグラフタイトル

新規患者や未設定の患者で初期表示されるグラフタイトル（患者ごとの設定が優先）

eGFRの推移と回帰直線

デフォルトeGFR下限値

到達予測の基準となる下限値の初期値（患者ごとの設定が優先）

6

デフォルト表示オプション

新しい患者や未設定の患者で初期表示として使われます（患者ごとの個別設定が優先）。

☒ 予測区間（±2SD）

☒ 破線表示 ☐ 帯表示

☒ 95%信頼区間（95% CI）

☒ CKDステージ別の背景色

☒ 下限到達時まで延長

☒ 延長は最大

20

年までに制限

低下がごく緩やかな場合、下限到達の予測が数十～数百年先になりグラフが読み取れなくなるため、横軸の延長に上限を設けます（予測日そのものは解析結果表に表示されます）。

☒ 介入表示

保存

環境設定の画面

トップ画面の「環境設定」から開きます（管理者のみ）。ここで設定した値は、患者ごとの設定が無い場合の初期値として使われます。

項目	内容
施設名	印刷時のヘッダーに印字されます
デフォルトグラフタイトル	グラフ上部に表示されるタイトルの初期値
デフォルトeGFR下限値	到達予測の基準値の初期値（既定値 6）
デフォルト表示オプション	予測区間・信頼区間・背景色などの初期状態
延長は最大○年までに制限	「下限到達時まで延長」で横軸を伸ばす上限（既定 20年）

設定を変更したら「保存」をクリックしてください。

パスワード設定（サーバー版）

管理者・利用者それぞれのパスワードを変更できます。変更は次回ログインから有効です。


環境設定
[← トップへ](#)

パスワード設定（管理者 / 利用者）

院内ブラウザ版のログインに使うパスワードです。管理者は全機能、利用者(閲覧者)はデータ閲覧のみ利用できます。変更は次回ログインから有効です。

管理者パスワード

管理者パスワードを保存

利用者(閲覧者)パスワード（設定済み）

利用者パスワードを保存
解除

「解除」すると利用者ログインを無効化できます（管理者のみで運用）。

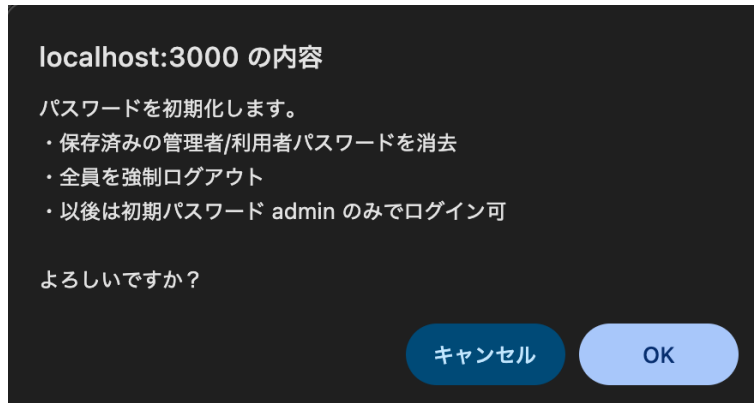
パスワード初期化

管理者交代やパスワード失念時に使います。保存済みの管理者・利用者パスワードを消去し、全員を強制ログアウトします。以後は初期管理者パスワード **admin** のみでログインでき、初回セットアップからやり直します。

パスワードを初期化する

パスワード設定

- ・ **管理者パスワード**：すべての機能を使えるパスワード
- ・ **利用者パスワード**：閲覧中心のパスワード。「解除」すると利用者ログインを無効にできます
- ・ **パスワード初期化**：管理者交代やパスワード失念時に使います。保存されたパスワードを消去して全員をログアウトし、初期パスワード **admin** に戻します

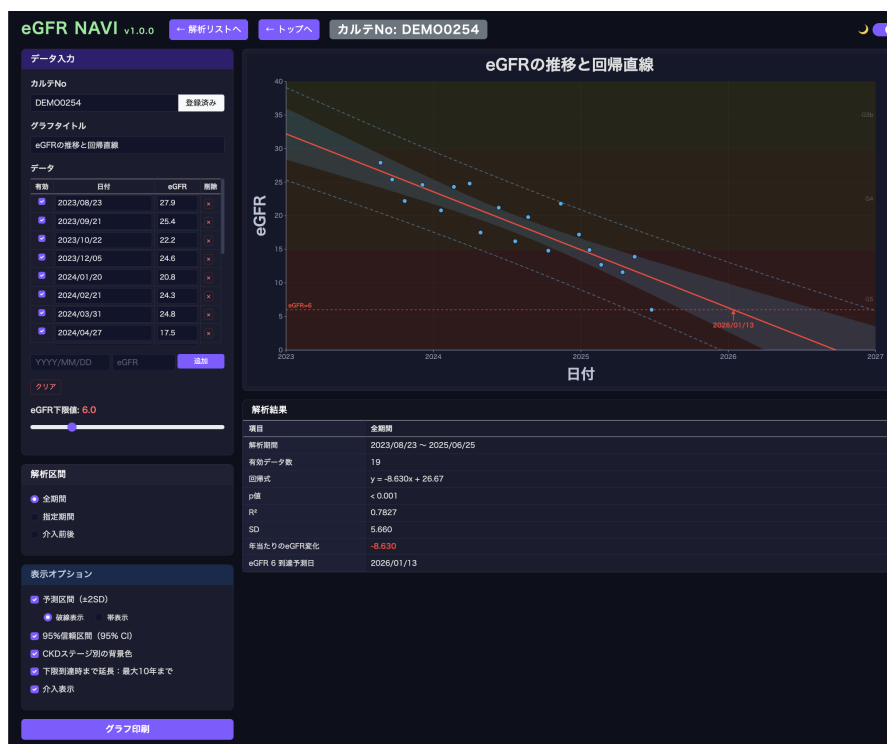


「パスワード初期化」を押したときの確認

パスワードはそのまま保存されず、復元できない形（ハッシュ）で保管されます。そのため、忘れた場合に「元のパスワードを確認する」ことはできません。失念した場合は「パスワード初期化」で初期状態に戻してください。

15. ダークモードとライトモード

画面右上のスイッチで、明るい配色と暗い配色を切り替えられます。設定は次回起動時にも引き継がれます。印刷は常に白背景です。



ダークモード

16. よくある質問

Q. グラフが表示されない

A. 有効なデータが3件以上ないと回帰直線を計算できません。「有効データが3件未満のため、解析を実行できません。」と表示されている場合は、データを追加してください。

Q. 「指定期間」を設定したのにグラフが変わらない

A. 日付を入力した後、**Enter**キーを押してください。

Q. 下限到達予測日を変えたい

A. eGFR下限値のスライダーを調整してください。右に動かすと高い値になり、予測日は早くなります。

Q. データベース解析で「判定不能」が多い

A. 測定回数が3回未満、または観測期間が1年未満の患者が多いことを示しています。これは異常ではなく、**継続的に検査できていない患者が多い**という所見として読んでください。

Q. 急速進行の一覧に、もう通院していない患者が含まれる

A. 「1年以上未検査の症例は除外」にチェックを入れると、最終検査から1年以上経過した患者を一覧から外せます。

Q. 夏になると eGFR が下がる患者がいる

A. 屋外労働者などでは**季節変動**（夏に低下、冬に上昇）が見られることがあります。短期の変化率だけで判断せず、長期の回帰直線とあわせて評価してください。

Q. パスワードを忘れてログインできない

A. 管理者でログインできる方がいれば「環境設定 → パスワード初期化」で初期化できます。誰もログインできない場合は、サーバーの管理担当者にご相談ください（**RECOVERY.txt** に復旧手順が書いてあります）。

Q. 自院が契約している検査会社のデータ形式が選択できない

A. データファイルの形式ごとに対応が必要です。ファイルの見本をご提供のうえ、別途ご相談ください。